

## < 準採択者 6件 >

おおせのとおり 中瀬 亮兵 (郡山市)  
都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを太くして  
住み続けられるまちづくりを行う為に「まず竹を売る」



野崎 奈津子 (古殿町)  
ファブリックロスを減らそう! 廃棄布をアップサイクルして循環するものづくり



株式会社エシカル郡山 代表取締役 星 佳子 (郡山市)  
「こども食堂〜じいばあのお知恵とこどもの好奇心をつなぐ〜」  
廃棄される食材を再利用し、カラダに安全な食事を届ける



中河西 宏樹 (郡山市)  
誰もが輝けるキャリア支援



株式会社えこでん 代表取締役 久我 和也 (郡山市)  
せかいタンブラー



ハーベストカフェ 代表 満井 みさ子 (郡山市)  
シニアのスタッフが活躍し、高齢者を孤独から守る  
介護予防専門デイ「ハーベストカフェプラス」



## キックオフイベント

2021年10月20日(水)13:00-17:00

採択された起業家による10件の社会課題解決プロジェクトの概要紹介と、こおりやま広域圏での課題解決の実践に向け、参加者も含めた連携や協業を考える場として開催。

## 成果報告会

2022年3月7日(月)13:30-17:30

DXやSDGsに挑んだ起業家・地元企業等が、郡山の未来をつくるための連携・協力を生み出すための交流イベント。  
「こおりやまDXプラットフォーム」及び「こおりやまSDGsアクセラレータープログラム」の採択者によるピッチを聴き、グループに分かれて連携・協力を考える意見交換のセッションを実施。

※「令和3年度郡山市産業DX推進支援体制構築事業(こおりやまDXプラットフォーム)」および「令和3年度社会起業家加速化支援プログラム(こおりやまSDGsアクセラレータープログラム)」の合同にて実施。

## 起業家交流会

起業を目指す方や地域内外の起業家の方を対象に、オンラインでの交流会を開催。各回テーマを設け、参加者同士で情報交換を行いながら、社会の課題解決に挑む皆さんの交流を図る。

第1回 2022年3月1日(火)20:00-21:45  
ジェンダーと生きづらさ  
～ありがたい姿のわたしでいられる社会をつくろう

第2回 2022年3月8日(火)20:00-21:45  
食と酒と魅力づくり  
～食とお酒の取り組みをマッチングしてみよう

第3回 2022年3月15日(火)20:00-21:45  
教育と子ども支援  
～子どもたちの不安と希望に向き合うためにできること

第4回 2022年3月22日(火)20:00-21:45  
ウェルビーイングと地域活動  
～みんなで作る医療介護福祉のエコシステム



主催：郡山市  
協力：こおりやま広域圏の市町村  
企画運営：エイチタス株式会社

# こおりやま SDGs アクセラレータープログラム

成果報告

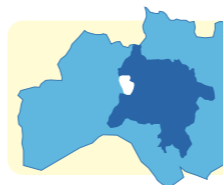


(令和3年度社会起業家加速化支援プログラム)

<https://entre-koriyama.com>



こおりやま広域圏内の社会・地域課題を解決する事業アイデア・サービスを持つ起業家や国内外へ事業拡大を目指す起業家などを広く募集し、様々なサポートを実施するプログラム。応募総数31件の中から、厳正なる審査の結果、採択者10件、準採択者6件を決定。



### こおりやま広域圏の構成市町村

群山市・須賀川市・二本松市・田村市・本宮市・大玉村・鏡石町・天栄村・猪苗代町・石川町・玉川村・平田村・浅川町・古殿町・三春町・小野町

## 採択者向け支援メニュー

- 1 ブラッシュアップ講座 (全6回 オンライン受講)
- 2 メンタリング支援 (事業プランのブラッシュアップ)
- 3 キックオフイベント・成果報告会での発表機会の提供
- 4 地域との関係づくりのコーディネート支援(こおりやま広域圏内にて実施)

## 対象者

- 1 こおりやま広域圏内の社会・地域課題を解決する事業アイデア・サービスを持つ事業者(住所要件無し)
  - 2 こおりやま広域圏内から国内外へ事業拡大を目指す事業者(住所要件:こおりやま広域圏)
- ※①②いずれの場合も、以下のいずれかに該当すること  
 ✓ 起業希望者 ✓ 起業10年未満の起業家  
 ✓ 創業10年未満のベンチャー企業  
 ✓ 新規事業の立ち上げ または第二創業を目指している中小企業



こおりやま広域圏内の課題等を解決する事業アイデア・サービスを持つ起業家等  
 <採択者 5名>



株式会社社塾 代表取締役 砂 亮介

大阪府



「病院・施設のベッドの利用状況をクラウドで一元管理、  
 ユーザー間で共有できるサービス」

病院・施設のベッドの利用状況をユーザー間でリアルタイムに共有できるクラウド型サービスBecycleを開発。地域連携サービスとして患者の移転を効率化し、医療介護資源の有効活用、安定経営につなげる。地域の医療介護を支える方々とともに、持続可能な医療介護に向け活動したい。



実践内容:こおりやま広域圏内での「Becycle」のサービス導入先の開拓



vivola株式会社 CEO 角田 夕香里

東京都



「不妊治療患者の通院負担低減のための  
 遠隔診療システムのスキームの確立」

不妊治療患者への支援アプリや、医療機関向け病連携システム、類似症例データベースの開発を行う。企業対象のセミナー等により不妊治療という社会課題への理解を促し、医療の広域連携に向けた協力を一人でも増やしたい。目指すのは、女性が自身の健康課題と主体的に向き合える世界の実現。



実践内容:こおりやま広域圏内の事業者に向けた不妊治療に関する意識啓発



株式会社アルゴロマン 代表取締役 沖野 昇平

東京都



「世界に注目される幼児教育の街、KORIYAMA。  
 5歳から世界中の人とおしゃべりする子どもたち。」

世界中の人と会話できるオンライン教育プログラム「ミーツ・ザ・ワールド」を、保育園や幼稚園など幼児施設へ展開している。多様な国・文化の人との会話を積み重ね、子どもたちのコミュニケーション意欲を育む。サービスが浸透した先には、世界に注目される幼児教育都市の実現を目指す。



実践内容:郡山市内での「ミーツ・ザ・ワールド」プログラム実施



テレリハ株式会社 COO 木村 佳晶

東京都



「新しい生活様式を地域主体で展開するための  
 オンラインリハビリサービス」

リハビリサービスを必要とする方と専門家をマッチングし、トレーニングや活動・身体についてアドバイスを行うアプリを独自開発。健康不安が解消され、健康意識向上、生産性向上、社会保障費削減等が期待できる。リハビリテーションや疾患予防の言葉自体が不要になる街や社会を創造したい。



実践内容:Begins Today合同会社との協業による健康増進プログラム開発

Begins Today合同会社 代表社員 新矢 裕介

白河市



「超アナログだからできる、  
 こおりやま広域圏から福島県を日本一の健康寿命都市へ!」

高齢者、精神疾患や障害者の方、生活保護受給者などの社会的弱者をスタッフとするポスティングサービスを展開。歩くことで健康になりながら報酬を受け、社会と繋がる安心感ややりがい、責任感、達成感など精神的な報酬も得ることができる。心身ともに健康になる、健康寿命県を目指す。



実践内容:ポスティング事業の健康増進プログラム化

こおりやま広域圏から国内外へ事業拡大を目指す起業家  
 <採択者 5名>



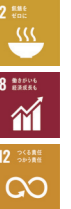
株式会社しのが 代表取締役 篠原 祐太郎

郡山市



「こおりやま経済圏の農家  
 ×事業者の新商品開発・販売コミュニティの創出」

加工場併設の販売拠点を設け、コロナ禍での飲食店休業に伴い行き場のなくなった食材と、農家の想いが届く仕組みを作っている。福島県農家と加工業者のマッチング、六次化商品の開発・販売、県外でのPR等にも取り組む。生産者の収益性向上を図り、持続可能な循環社会の向上に寄与する。



実践内容:業務拡大のための人材戦略づくりと他地域との連携検討



株式会社ケイリーパートナーズ 代表取締役/COO 鷺谷 恭子

郡山市



「こおりやま経済圏の企業における  
 持続可能な女性活用を叶える設計及び運営の支援事業」

企業の生産性向上と女性活躍推進の両立を目的に、ワークシェアリングによるアウトソーシングサービスを展開中。スタッフは子育て世代の女性を中心に、経理事務、営業支援、広報等のサービスを行う。「誰もが自分らしい調和で働き、社会とつながっている未来を目指して。」がコンセプト。

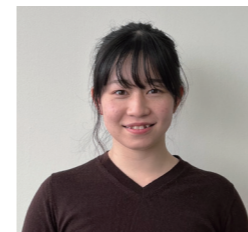


実践内容:事業の成長モデルづくりとアクションプランづくり



株式会社ウェブレッジ 石井 沙都

郡山市



「学習効果の向上、教員業務の負担軽減を目指す  
 授業支援アプリケーションの開発」

教員の授業準備の負担軽減や、授業中の生徒の状態を可視化・フィードバックし、授業の質の向上を支援するアプリケーション。郡山発のITベンチャーとして、これまで培ってきた技術や資産を活用し、教育現場の課題を解決したいと開発した。地域の未来を担う人材育成に貢献したい。



実践内容:こおりやま広域圏内の教育現場での授業支援アプリケーション導入支援



株式会社benefic 代表取締役 小林 聖

郡山市



「こおりやま経済圏のご当地ブランドの  
 開発・ブランディング・販売プロジェクト」

こおりやま経済圏各市町村のご当地ブランド・商品の開発を進めている。地域のイメージや協同しやすいブランドを元に商品開発することで連携を図り、地域内の経済循環を作っていきたい。さらに関係人口・交流人口の創出につなげ、こおりやま経済圏が豊かになる循環構築に寄与していきたい。



実践内容:地域の土産物の企画開発のためのブランディング手法の検討

大越 雄太

郡山市



「新たな国産天然繊維の栽培による  
 持続可能な農業と繊維産業の発展」

水稻を活用した国産繊維原料を安定的に大量栽培する仕組みを目指し、栽培や加工方法を試行中。天然繊維の供給により安定した農業収入、飼料やバイオマス燃料などへの副産物の活用、地域ブランドによる活性化等が見込まれる。国内の農業と繊維産業の振興によって持続可能性を持たせたい。



実践内容:イネ素材による糸を使った商品展開の戦略検討と試作品制作